

新しい出会いがうれしいね

新緑が美しい季節となりました。

今年度は桜の開花が早かったですが、4月1日の入園式の日はまだなんとか桜が残っている中で入園式を行うことが出来ました。

ひとつ大きくなった子どもたちは、つくし組の子どもたちがベランダで遊んだり、保育士に抱っこされている姿をベランダ越しに眺たり、つくし組の子たちをベビーカーに乗せて園庭散歩をはじめると、一緒にベビーカーを押してくれる大きいクラスの子どもの姿が微笑ましいです。



幼児クラスの子どもたちは、気持ちいい空気の中散歩に出かけ、里山の畑でラディッシュを収穫させてもらったりもしています。

昨年の今頃は緊急事態宣言が発令されて、散歩に出ることもためられました（学校等が休校で保育園の周りは人であふれていたこともありましたが）、今年度は平和公園も静かになり、5月もたくさん散歩を楽しんでいけるといいなと考えています。

子どもたちには、保育園でのあそび・暮らし・文化を共有しあい、楽しい充実した一年を過ごすことが出来るよう職員は力を発揮していきたいと考えています。父母の皆さんも子どもたちと一緒に保育園生活を楽しみ、子育て仲間をつくっていきましょう。

乳児園庭を作っています



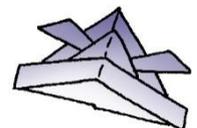
ののかぜ保育園の園庭はとても広

く、砂場や遊具のある場所だけでなく、木陰や草むら、ホールのかっこにあるウッドデッキなど色々な場所でそれぞれ友だちと虫取りやままごと、〇〇ごっこ等々いろんなことをして楽しんでいます。

一方で、乳児さんたちだけでのんびり遊べる空間も出来たらいい、特に冬場は朝からたっぷり日が当たる場所となる、園舎東側に乳児園庭を作り始めました。まだ整地をし、柵を付けただけですが、これから少しずつ遊びこめるようにし、花などを植えていく予定です。また、保育園は草にも恵まれているため、草取り、草刈りも大変ですが、少しずつ進めていきます。お手すきの方がみえましたら、草刈りなどお手伝いをよろしくお願いいたします。

そういえば、園庭の滑り台についているボルダリングに、たんぼぼの子どもたちが挑戦し、登ったり、三輪車に挑戦したりと、大きい子たちの姿を見てどんどんたくましくなっている子どもたちです。

学習の土台をつくる 脳育て



ののかぜ保育園では「よく眠り、よく食べ、よく遊ぶ」生活を大切にしています。これは、乳幼児期の子どもの育ちには欠かせません。早寝早起きの生活で、体内時計がしっかりつくられます。朝ご飯をしっかり食べ、一日の始まりには朝日を浴びて、昼間は五感を働かせ（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）、夜は電気を暗くして十分な睡眠をとることが大切です。運動と脳は密接に関係しています。ののかぜ保育園では、戸外あそび、リズム運動、手仕事（ポットン落としや紐通しに始まり、描画・造形につながっていきます）を日常的に取り入れ、手や体を使ってあそびます。手や足は突き出た脳と言われている、裸足は、足の裏から刺激をしっかりと脳に伝え脳神経を刺激します。（靴下は防寒時のみ使用）

早期教育を頑張るのではなく、テレビやゲームをできるだけ遠ざけ、絵本の読み聞かせや、親子の会話を楽しむことが大切です。